

# 亀井山城跡 探検会



亀井山城跡空撮写真



さあ、探検  
しよう！

《とき》 平成27年12月19日（土）午前9時～正午

《ところ》 出水市野田町 亀井山城跡 [市指定史跡（一部）]

出水市教育委員会生涯学習課

## 1 『中世山城』とは？

中世山城とは、いわゆる「中世（鎌倉～戦国時代）」と区分される、特定の時期にのみ全国的に普及した、山頂や山腹などの自然地形を利用した戦闘的施設で、その後は近世の人工的施設である「(天守閣を持つなどの)城郭」へと変遷し、権力者の象徴的・政治的施設として続きます。

中世山城は自然地形を利用した立地特性から、山頂部や丘陵部を切り開いて平坦地を造り、隣り合う平坦地どうしは谷地形や人工的に造られた堀や空堀で区切られています。この平坦地が「曲輪（くるわ、「廓」とも表記します）」で、この曲輪内に戦闘指揮所や武器・食糧倉庫などの施設を建て、非常時にはここで生活し、戦闘に備えていました。

そして、この曲輪と曲輪どうしを区切る堀などを一つのセットとした複数の曲輪やその他の山城遺構の集合体を中世山城と呼びます。

## 2 出水市の中世山城

現在市内には 24 箇所の中世山城跡が確認されています。このうち市指定史跡は、今回探検会を開催する『城山（亀ヶ城・花見ヶ城）』のほか、高尾野町の木牟礼城跡と紅葉城跡、野田町の亀井山城本城跡の 4 史跡です。

これら以外の中世山城跡は、遺構が良好に残っていても、その立地状況や環境・管理状況等によっては雑草・雑木等が繁茂して、大事な遺構を隠してしまい人目に付きにくくなっていることが多くみられるようです。最悪の場合、山城遺構の存在が忘れられてしまい、その結果、知らない間に工事などにより遺構が消えてしまうことが心配されます。



野田町上名の亀井山城跡

### 3 亀井山城跡関係 年表 (『野田町郷土誌』より)

	時代	西暦	郷土のできごと	日本の 主な出来事
古 代	11 万年前		川平の巨礫群ができる	
	奈良時代	701 年 710 年頃 736 年	薩摩に <sup>こくふ</sup> 国府がおかれる 薩摩正 <sup>さつましやうぜいちやう</sup> 税帳に出水郡司の記載	たいほうりつりやう 大宝律令制定
	平安時代	906 年	出水郡に <sup>やまちごう</sup> 山内郷誕生	
中 世		1156～1160 年	平種国が山門院郡司職に就く <b>亀井山城築かれる</b>	保元平治の乱
	鎌倉時代	1186 年 1193～1194 年	惟宗(島津)忠久三州守護職に就く 本田親恒木牟礼城を築く 島津氏が総州家と奥州家に分かれ争う	鎌倉幕府成立
	室町時代	1422 年	総州家の木牟礼城落城し、山門院は相良氏に与えられる(25年間統治)	
	戦国時代	1453 年	島津用久が薩州家を起す	
		1547 年	田代の合戦(野田城主島津忠兼 VS 渋谷氏)	応仁の乱
		1548 年	中之峰の合戦(忠兼 VS 渋谷氏)	鉄砲伝来
		1565 年 3 月 7 月	堂崎城の合戦(忠兼が長島を攻略) <b>島津忠兼一族滅亡により亀井山城廃城</b>	室町幕府滅ぶ
平成	2006 年 1 月	旧野田町 亀井山城跡を町指定史跡に(合併後は出水市指定史跡に)		
	2007～2010 年 2013 年	亀井山城跡発掘調査(本城跡、蔵之城跡) 発掘調査報告書刊行、説明会開催		

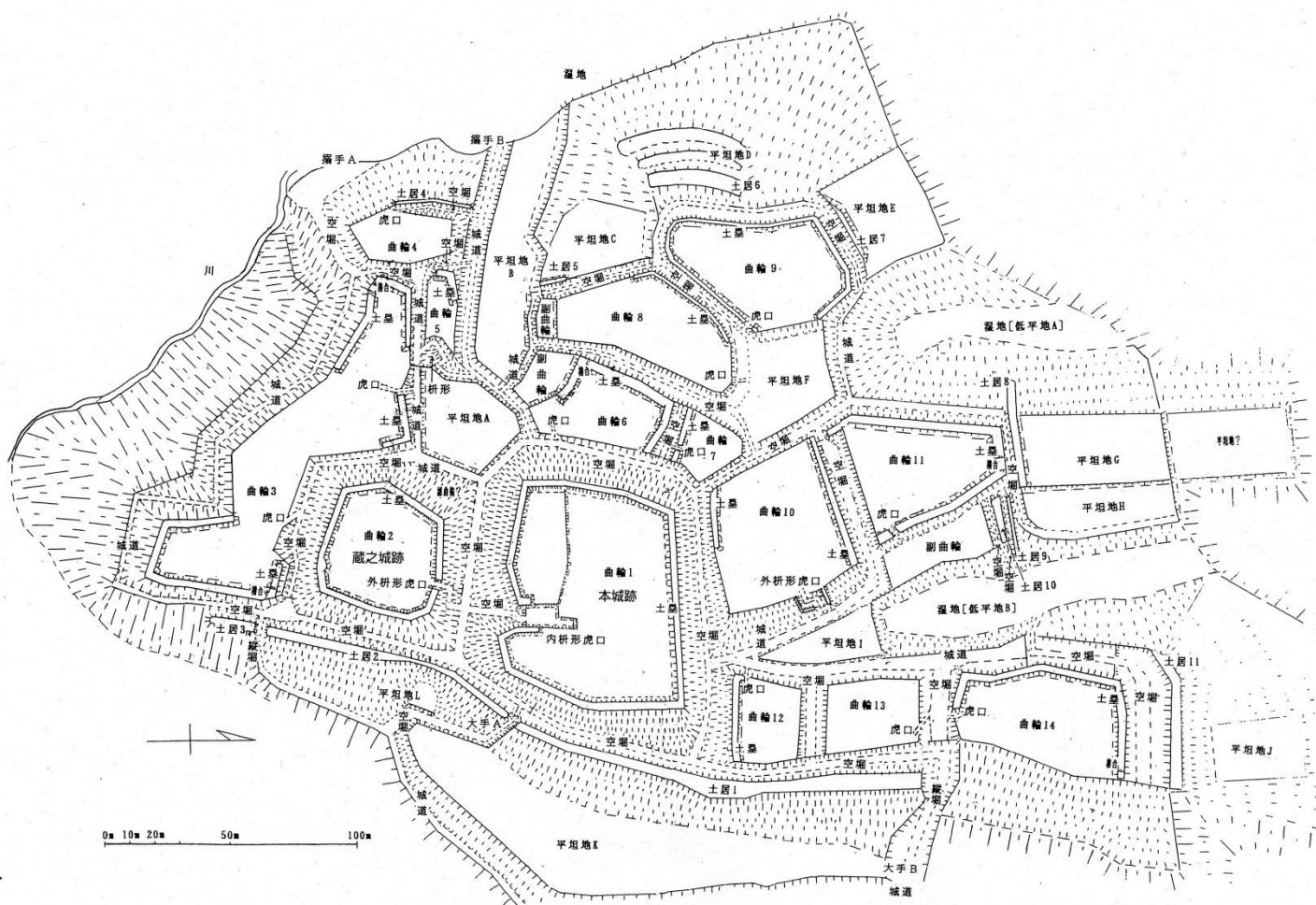
#### 4 中世山城の用語

切岸（きりぎし）…曲輪の周りの斜面を人工的に急にして登りにくくすること。曲輪以外にも作られている場合もあります。

空堀（からぼり）…尾根の鞍部や曲輪を掘り切って、尾根伝いや隣接する曲輪から敵の進入を防ぐために造られました。水の無い空堀が一般的

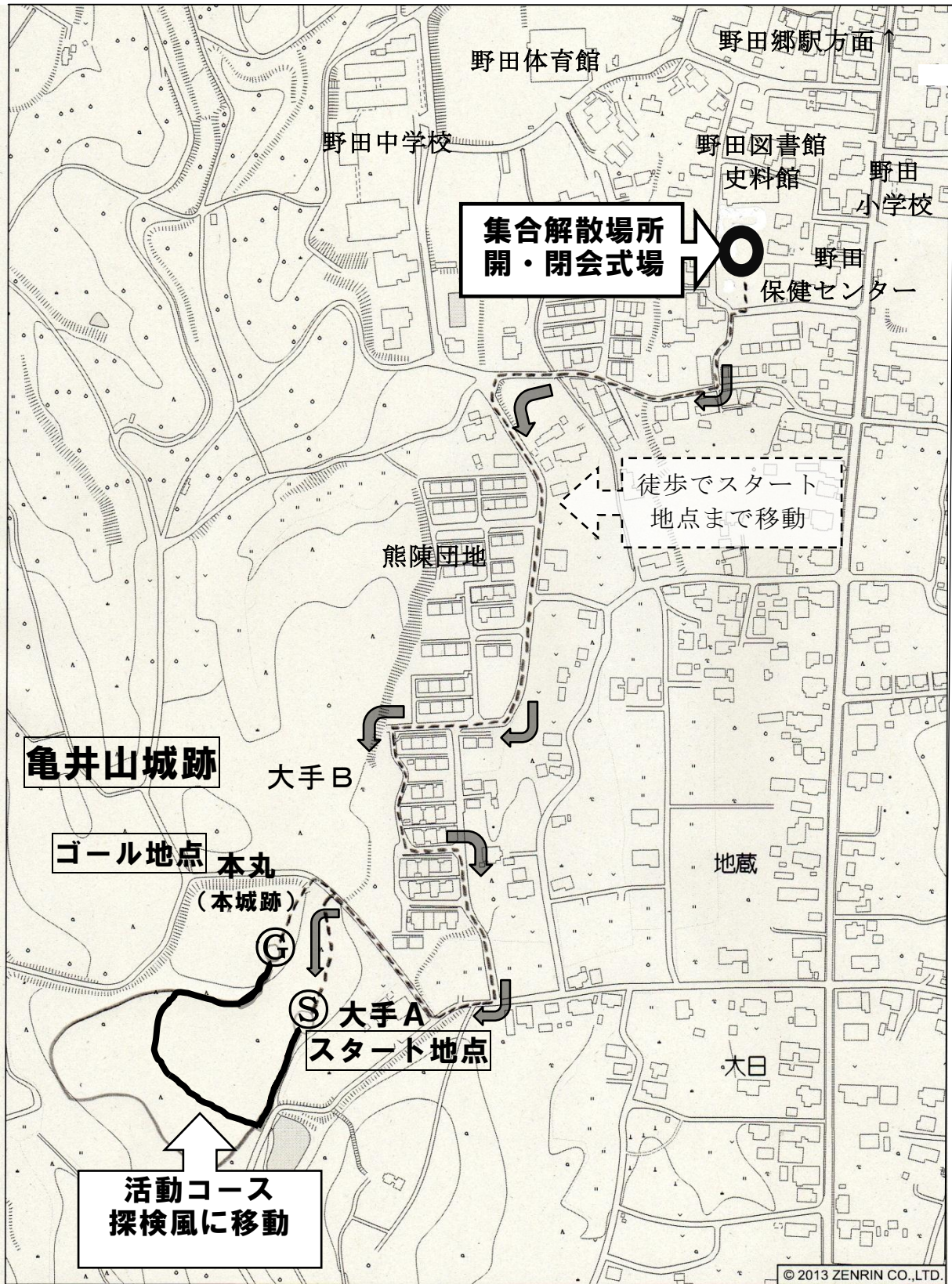
土塁（どるい）…曲輪の周囲に、空堀を掘った時の土などを利用して、線・帯状に盛って空堀や切岸とセットとなって曲輪を防御するもの。また、曲輪に伴わない単独で造られたものは土居（どい）といいます。

虎口（こぐち）…曲輪の出入り口。戦国時代になると敵の進入を防ぐため、枡形（ますがた）虎口や喰違（くいちがい）虎口など様々な形が生み出されました。



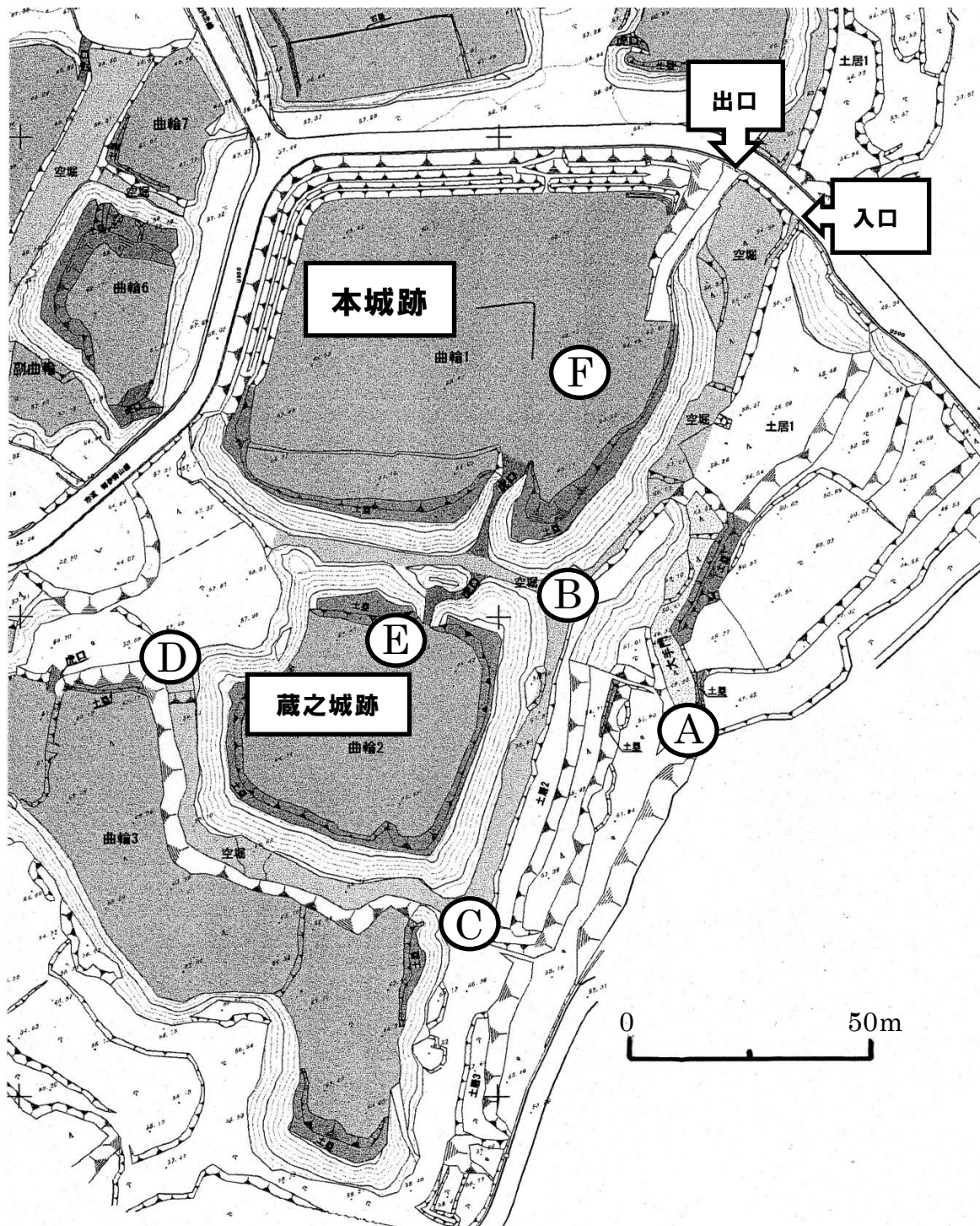
亀井山城跡縄張り図 [三木靖氏 作成]

# 亀井山城跡探検会 会場図



探検会コース図

北  
4



※出水市ホームページ発表の探検会活動コース図は12月12日に一部変更しました。